



2005年度第17回JIA新人賞講演会

住宅作品を語る

講師：石黒由紀 Yuki Ishiguro／石黒由紀建築設計事務所

日時：2006年1月28日(土) PM1:00～4:00

開場・受付 PM1:00～1:30

講演会 PM1:35～2:00 選考風景上映

PM2:00～3:30 「住宅作品を語る」講師／石黒由紀

PM3:30～3:50 質疑・応答

会場：徳島県文化の森21世紀館イベントホール1F

徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内 TEL：088-668-1111

主催：(社)日本建築家協会 四国支部

共催：(社)日本建築学会四国支部

入場無料!! (定員150名、申込不要・先着順)



問合せ先：(社)日本建築家協会 四国支部 徳島地域会

徳島県徳島市佐古三番町6-17-403 TEL：088-602-1236

東京の郊外の集合住宅における快適さとは、住戸間、共用部および隣家との、空きと視線のとり方によると考えた。敷地周辺は駐車場などの空地と様々な形・大きさの建物がまばらに混在している。そこで住棟を、戸建住宅にも違和感の無い大きさの分棟とし、隣家や住棟間の距離を十分確保することで、建物外壁全周にまんべんなく採光、通風、眺望に有効な開口部を獲得した。全住戸の寝室を三階にまとめて天井高さを押さえ、各階の床下の設備配管の横断を最小限になるような平面とし、4層で10Mという高さ制限をクリアした。更に設備と配管をセンターコア的に共用階段の壁内に納めて、方位による裏表の関係をなくし、全方向性を確実にした。そのことにより、ほぼ同じ平面の北棟と南棟を90度回転して配置する、という単純な手順で、住棟間の視線の交錯を回避し、各住戸ごとの環境条件に、「優劣」とは違う微妙な「差異」をもたせることが可能になった。住戸内部は斜めの壁面により、相互の視線をずらすことでプライバシーを確保し、テラスや窓の外へと視線を誘導することで、外部への視覚的な広がりを獲得し、角度の違いによる多様な抜けと奥行き、をつくった。また室内では「大小の部屋」のメゾネットタイプを提案し、明るさ、素材・色味、等を対照的に差異化することで、常に自分の居場所を相対化できる形式を試みた。

(石黒由紀)

<調布のアパートメント>

設計者 石黒由紀 (有)石黒由紀建築設計事務所

施工者 (株)佐藤秀

構造 混構造(鉄骨+鉄筋コンクリート)



建築家

石黒由紀 Yuki Ishiguro

●profile

1968年 東京都生まれ

1990年 日本女子大学家政学部住居学科卒業

1990-93年 東京工業大学工学部建築学科研究生

1993-96年 石田敏明建築設計事務所

1996年 石黒由紀建築設計事務所設立

現在、東京理科大、法政大、東海大にて非常勤講師

●主な受賞歴

1994年／『計画0』にてSD賞を受賞(田堀繁と共同設計)

2003年／『隅のトンガリ』にて東京建築士会住宅建築賞金賞を受賞

2004年／『あざみ野の一戸建』にて東京建築士会住宅建築賞を受賞

2005年／『調布のアパートメント』にて東京建築士会住宅建築賞、
東京都事務所協会東京建築賞優秀賞(共同住宅部門)を受賞